

# 令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

## 【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

## 【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

## 【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

## 【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

## 【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

# 令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

## 空挺作戦



## 統合防空ミサイル防衛訓練



## 水陸両用作戦



## 統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

## その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



## 令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 和歌山県における訓練について

本演習において和歌山県内で実施する訓練は、

航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)  
南紀白浜空港

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

## 和歌山県内で実施を検討している訓練内容 航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)

航空自衛隊の戦闘機部隊等が四国沖で実施される統合防空ミサイル防衛及び統合対艦攻撃訓練に参加し、それぞれの対処要領について演練します。あわせて、航空自衛隊の基地が使用できない場合に戦闘機が南紀白浜空港に着陸することを想定し、同空港にF-15戦闘機又はT-4練習機が連続離着陸訓練をする訓練を計画しています。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月31日(金)(前後に準備・撤収期間を数日間設定)

【参加部隊】航空自衛隊:中部航空方面隊

【南紀白浜空港】人員約5名、F-15戦闘機×4機(最大)又はT-4練習機

### 訓練イメージ

### 小松基地

### 南紀白浜空港



F-15戦闘機



T-4練習機

- ①航空自衛隊小松基地から四国沖に進出し、訓練に参加
  - ②四国沖での訓練後、南紀白浜空港に着陸(最大4機)することを想定した訓練を実施
  - ③連続離着陸訓練終了後、小松基地へ帰投
- ※期間中、3日間程度、民航機への影響のない時間帯に、1日1回の運航を計画しています。なお、夜間の運航は計画致しません。

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。